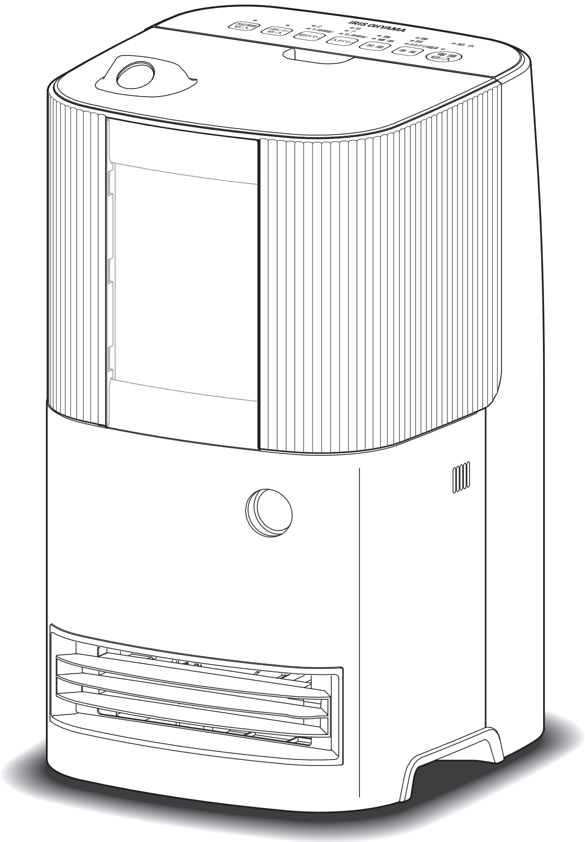
IRIS OHYAMA

室内・家庭用

加湿セラミックファンヒーター

SHH-121

取 扱 説 明 書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保　証　書　付（裏表紙）

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- **ご使用の前に「安全上の注意」を必ずお読みください。**
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味

記号	意味
⚠	注意を促す記号です。注意内容が記号の中に表示されることもあります。
🛇	行為を禁止する記号です。禁止内容が記号の中に表示されることもあります。
❗	行為を指示する記号です。指示内容が記号の中に表示されることもあります。

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う

必ず実施

● **電源プラグのほこりは定期的にとる**
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。

● **電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む**
ショートによる火災・感電の原因になります。

● **電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う**
火災の原因になります。

プラグを抜く

● **お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く**
感電やけがの原因になります。
ただし、使用後、冷却・乾燥運転中は電源プラグを抜かないでください。

ぬれ手禁止

● **ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない**
感電・やけど・けがの原因になります。

禁止

● **電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない**
ショートによる火災・感電の原因になります。

● **電源コードをたばねて通電しない**
過熱してやけど・火災の原因になります。
電源コードは、必ずのばして使用してください。

● **持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない**
火災・感電の原因になります。

● **電源コードを傷つけない**
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものをのせる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

必ず実施

● **異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く**
発煙・火災・感電のおそれがあります。
〔異常の例〕
- 異常な音やにおいがする
- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中時々電源が切れる
- 触れるとビリビリ電気を感じる

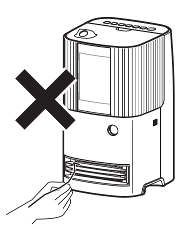
➡使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

分解禁止

● **分解・修理・改造をしない**
火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。
修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。

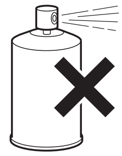
禁止

● **すき間から物や手を入れない**
感電やけがの原因になります。



禁止

- スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）



- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、可燃性のもののそばで使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない
  火災の原因になります。

水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない
- 本体を水につけたり、本体に水をかけない
  火災・感電の原因になります。

禁止

- 子供など取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
  けがや感電のおそれがあります。
- 屋外で使用しない
  故障してショートや火災の原因になります。

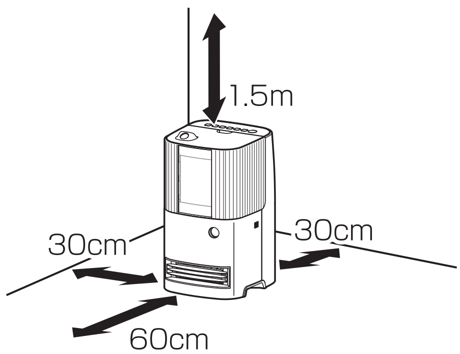
⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

設置について

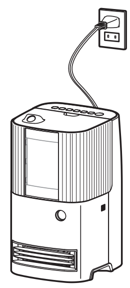
禁止

- 加湿された風やヒーターの温風が、壁や家具、カーテン、電気製品などに直接当たるところに設置しない
- 設置の際は、壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を離す
  壁・家具・カーテンの損傷・汚損、さらに火災の原因になります。
  また、電気製品に結露したり水のミネラル分が付着したりすると、電気製品の故障の原因になります。



禁止

- 暖房機・テレビ・ホットカーペットなど電気製品の上に設置しない
  火災の原因になります。
- コンセントの下に設置しない
  火災の原因になります。



必ず実施

- 水平で安定した床の上に設置する
  毛足の長いカーペットやふとんの上などに設置すると、転倒して火災や周囲の汚損の原因になります。
  また、台の上に設置すると、落下してけがや火災の原因になります。

プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
  電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
  絶縁低下により、火災・感電の原因になります。

ぬれ手禁止

- 使用中や使用直後は温風吹き出し口など熱い部分に触れない
  やけどの原因になります。
  お手入れや持ち運びは、本体が十分に冷えてから行ってください。

禁止

- 長時間同じ部位に温風を当てない
  低温やけどの原因になります。

火気禁止

- 火気・暖房器具などに近づけない
- 火のついたたばこ・線香などを近づけない

火災の原因になります。

必ず実施

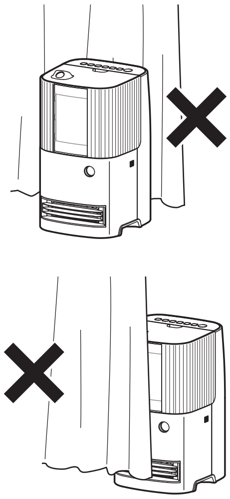
- 水タンクや吹き出しノズル、吸気口カバーを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、水漏れや周囲の汚損、火災の原因になります。

禁止

- 吸い込み口や吹き出し口をふさがない

吸気口や吹き出し口をタオルやカーテンでふさがないでください。水漏れや火災の原因になります。



禁止

- 製品の上に乗ったり、寄りかかったり、ものを置いたりしない

転倒によるけがや火災の原因になります。

禁止

- 移動するときは、必ず取っ手を持つ

タンクカバーやふたを持つと、落下してけがの原因になります。

水タンクの水について

必ず実施

- 毎日新しいものに取り替える

水タンクは毎日振り洗いし、常に清潔にしてください。古い水を使用すると、異臭を発したり健康を害する原因になります。

- 1週間以上使用しない場合は、必ず水タンク及び本体内の水を捨てる

水が入ったまま放置すると、異臭や周囲の空気の汚れの原因になります。

- 残った水を料理や飲み水に使用しない

健康を害する原因になります。

- 凍結しそうなときは、水タンク及び本体内の水を捨てる

凍結すると、破損・水漏れにより周囲の汚損の原因になります。

禁止

- 水道水以外は使用しない

40℃以上の水・化学薬品・芳香剤（アロマオイルなど）・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。
かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして水漏れや周囲の汚損の原因になります。

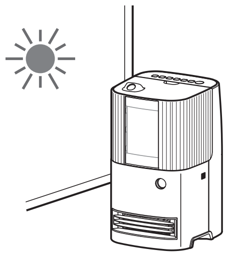
禁止

- ペット用には使用しない

ペットの健康を害するおそれがあります。
またペットが電源コードを噛む場合は、近づけないでください。

使用上の注意

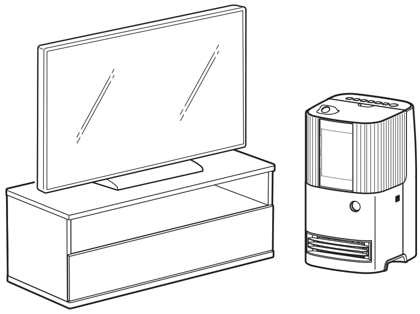
● 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで使用しないでください
変形・変色したり、センサーが温度・湿度を感知できず誤動作することがあります。



● スピーカーやIH調理器（電磁調理器）など磁気の出る機器の近くに置かない
正常に動作しないことがあります。

● ボタンを押したときなど、ブザーが鳴ってお知らせします。

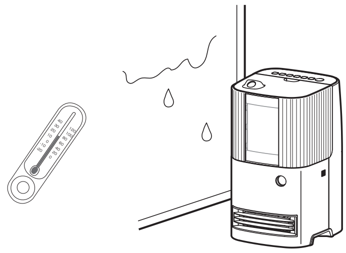
● ラジオやテレビに近づけない
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



● ベンジンやシンナーで拭いたりしない
破損・故障の原因になります。

使用環境について

● 加湿は室温 5 ～ 35℃で使用してください。
室温が低いと床濡れや結露がおこりやすくなります。加湿モードを標準にしたり、温風を併用して室温を上げるなどして使用してください。
また、窓際や冷気の影響を受けやすい壁などは、定期的に結露を拭き取るなどして使用してください。
室温が高いと蒸し暑くなります。



● 水平で安定した床の上で使用してください。
本製品に内蔵された傾きセンサーが働くと、運転を停止することがあります。

廃棄について

● 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

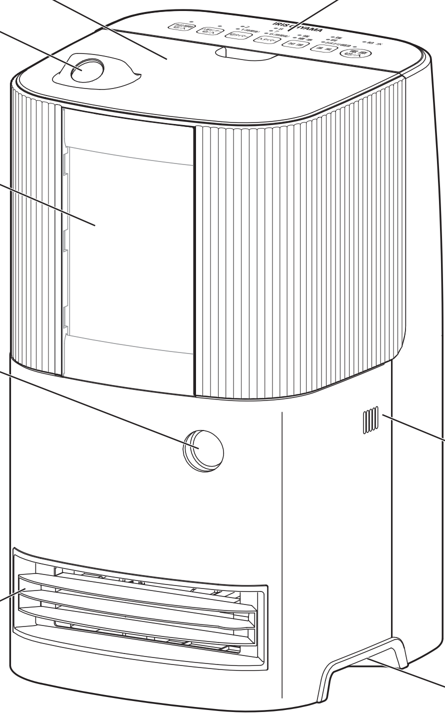
安全装置について

● 傾いたとき･転倒したときには、傾きセンサーが検知して運転を停止します。（温風の運転中は、ヒーターの冷却のため約30秒間送風運転を行った後、運転を停止します。加湿中は、約15分間加湿筒内部の乾燥運転を行った後、運転を停止します。）

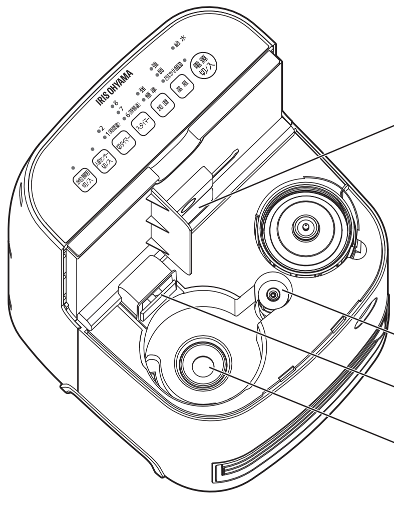
● 何も操作をしない状態が4時間続くと、自動的に運転を停止します。（切り忘れ防止装置）

各部の名称

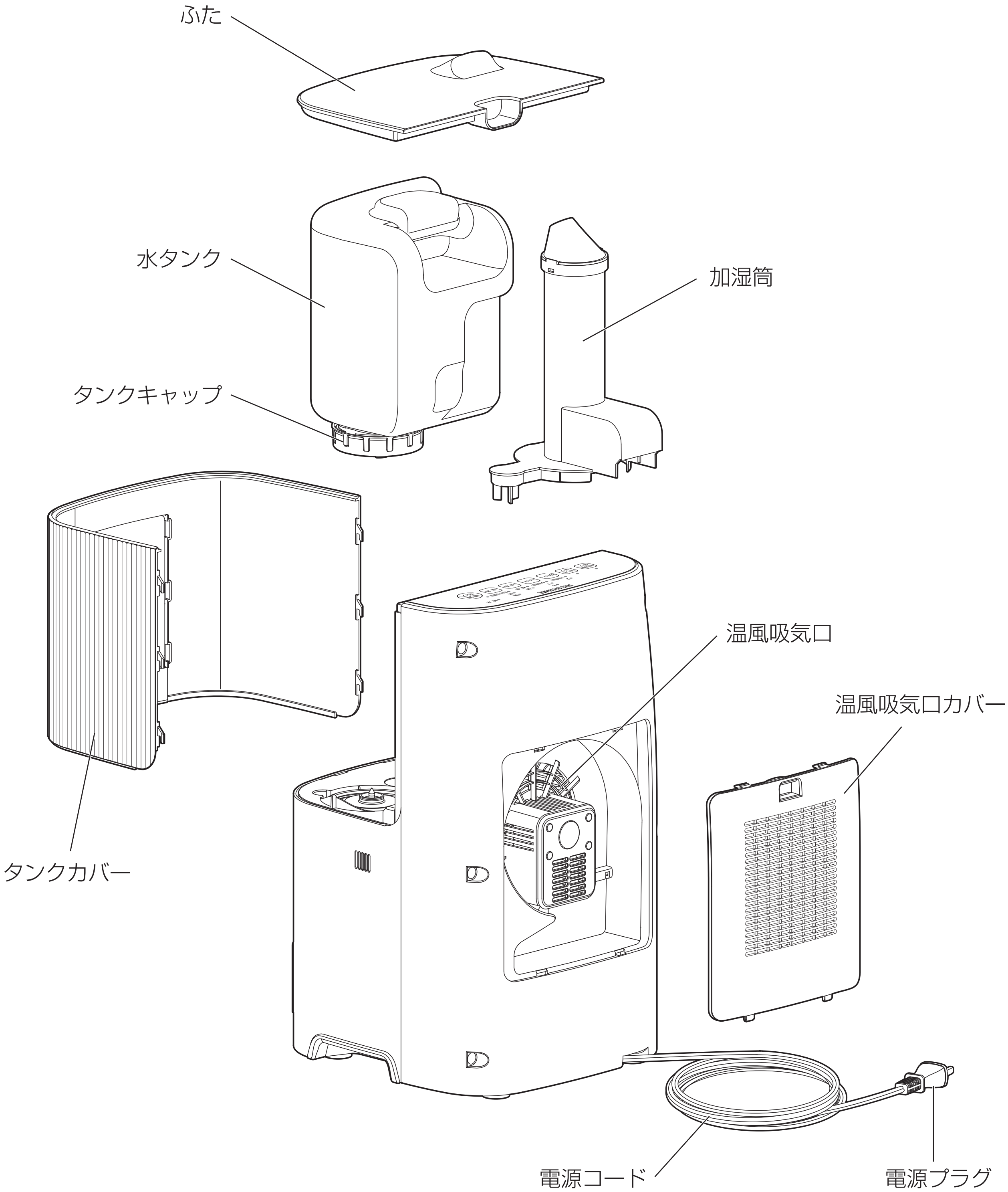
■本体



■加湿器内部



■背面と部品構成



各部の名称　つづき

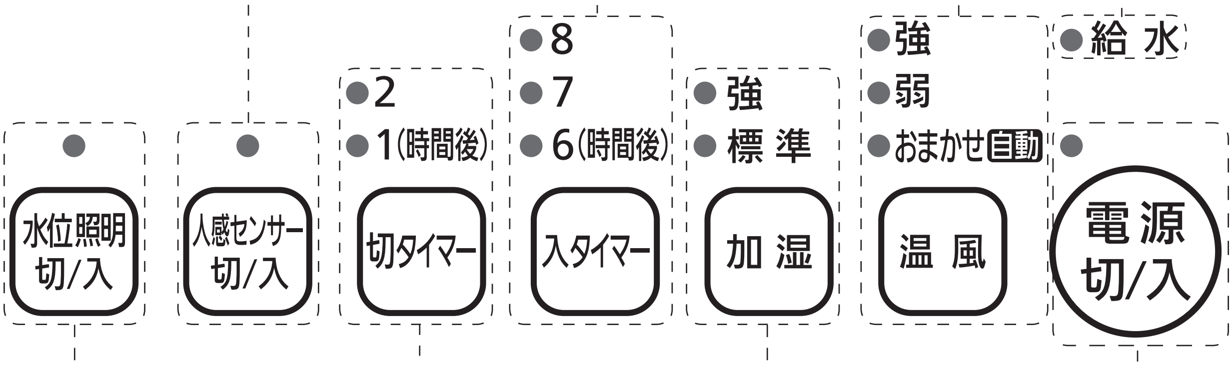
■操作パネル

人感センサー 切／入ボタン・ランプ
人感センサーを入／切します。入にすると、人がいない間は運転を停止し、人の動きを検知すると運転する省電力運転ができます。（→P13）

温風ボタン・ランプ
温風のモードを切り替えます。
（→P10）

入タイマーボタン・ランプ
タイマーで運転を開始する時間を設定します。ボタンを押すたびに **6→7→8**（時間）→タイマー解除 と切り替わります。（→P11）

給水ランプ
水タンクが空になると点滅して、加湿を停止します。水タンクに給水してセットすると消灯して加湿を再開します。（→P12）



水位照明 切／入ボタン・ランプ
水タンク照明を消灯／点灯します。
（→P12）

加湿ボタン・ランプ
加湿のモードを切り替えます。
（→P10）

切タイマーボタン・ランプ
タイマーで運転を停止する時間を設定します。ボタンを押すたびに **1→2**（時間）→タイマー解除 と切り替わります。（→P11）

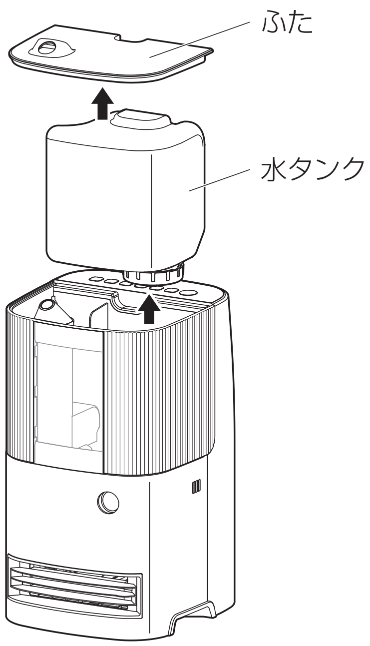
電源 切／入ボタン・電源ランプ
ボタンを押して入にすると、停止したときと同じモードで運転します。（→P10、11、12）

準備

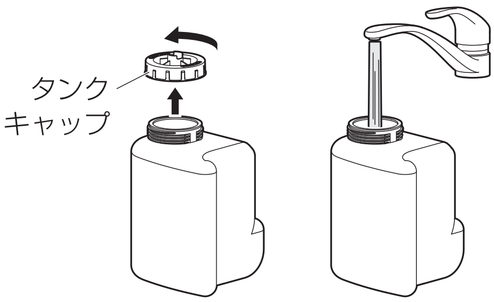
■水タンクに水を入れる

加湿運転するときは、水タンクに給水してください。
※温風のみの運転のときは、水タンクに給水の必要はありません。

1 ふたを外して水タンクを取り出す



2 タンクキャップを外し、水道水を水タンクに入れる



⚠注意

- 必ず水道水を使用してください。40℃以上の水・汚れた水・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。
- 水に薬品・香料・精油などを入れないでください。
  かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして水漏れや周囲の汚損の原因になります。

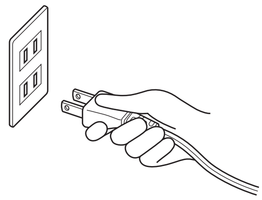
3 タンクキャップをしっかり閉め、水タンクとふたを本体にセットする

※水タンクをセットするときは上から落とさないで、ゆっくりセットしてください。破損の原因になります。

⚠注意

- タンクキャップは確実に閉めてください。
  タンクキャップがななめになっていたり、ゆるんでいたりすると、水がこぼれて感電・火災や周囲を汚損する原因になります。

■電源プラグをコンセントに差し込む



使いかた

■運転を開始するには

- **電源 切**／**入**ボタンを押すと、電源ランプが点灯し、最初は温風が**おまかせ**モードで運転します。次回からは、停止したときと同じモードで運転を開始します。

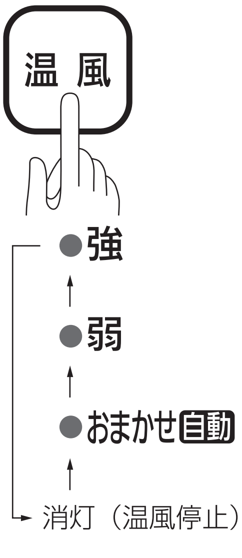


※電源プラグを抜いたり、停電したりすると、次に電源を入れたときは、温風が**おまかせ**モードで運転します。

■温風モードの切り替え

- 運転中に**温風**ボタンを押すと、**おまかせ 自動**→**弱**→**強**→温風停止 と温風のモードが切り替わります。

※加湿の停止中は**温風停止**は選べません。



おまかせ 自動

- 室温が約22～約26℃になるように、自動で**強**･**弱**･温風**停止**を切り替えて運転します。
（運転の例：26℃を超えて**停止**した後、22℃以下に下がると**強**で運転再開、22℃を越えると**弱**に切り替わります。）

強

- ヒーター 1200Wで連続運転します。

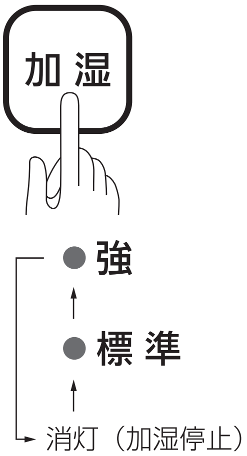
弱

- ヒーター 600Wで連続運転します。

■加湿モードの切り替え

- 運転中に**加湿**ボタンを押すと、**標準**→**強**→加湿停止 と加湿のモードが切り替わります。

※温風の停止中は**強**と加湿停止は選べません。加湿**強**で運転時に温風を停止すると、**標準**に切り替わります。



標準

- 最大加湿量300ml/hに設定して加湿します。

強

- 最大加湿量600ml/hに設定し、よりパワフルに加湿します。

※両方のモードで、センサーで検知した温度・湿度の組み合わせにより、間欠運転して細かく加湿量を調整します。室温が低いうちは、床ぬれを低減するために加湿量をおさえます。

■停止するには

・運転中に**電源 切／入**ボタンを押すと、電源ランプが点滅して送風運転または乾燥運転を行った後、電源が消灯すると運転が停止します。

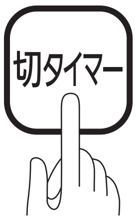


●停止するときは、温風運転中はヒーターの冷却のために約30秒間送風運転を行います。加湿中は、約15分間加湿筒の乾燥運転を行います。この間は、電源プラグを抜かないでください。
●長期間使用しないときは水タンクと本体内の水を捨ててください。

■切タイマー

就寝時など、タイマーで運転を停止する時間を設定します。

・ボタンを押すたびに表示ランプが切り替わり、切タイマーがスタートします。
・切タイマーで設定した時間が経過すると、電源ランプが点滅して送風運転または乾燥運転を行った後、電源ランプが消灯すると運転が停止します。



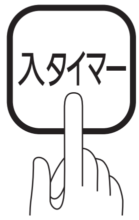
●2
↑
●1(時間後)
↑
消灯（タイマー解除）

※切タイマーがセットされていなくても、何も操作をしないで4時間経過すると自動的に運転を停止し、電源ランプが点滅します。（切り忘れ防止装置）

■入タイマー

起床時などに合わせて、タイマーで運転を開始する時間を設定します。

・ボタンを押すたびに表示ランプが切り替わり、運転が停止して入タイマーがスタートします。（停止する前に、電源ランプが点滅して送風運転または乾燥運転を行った後、電源が消灯すると運転が停止します。）
・切タイマー運転中は、入タイマーはスタートしますが運転は停止せず、切タイマーの設定時間が経過してから運転を停止します。
・入タイマーで設定した時間が経過すると、運転を開始します。

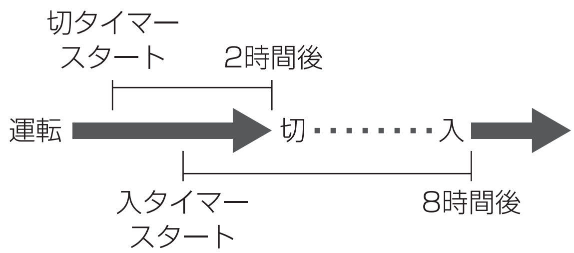


●8
↑
●7
↑
●6(時間後)
↑
消灯（タイマー解除）

※運転開始時は、停止したときと同じモードで運転します。
※入タイマーで運転した場合は、何も操作をしないでいると、2時間で運転を停止し、電源ランプが点滅します。何か操作をした場合は、連続運転の時間は4時間になります。

切タイマーと入タイマーの組み合わせの例

※切タイマーを先に設定してください。



切タイマーを午後9:00に2時間に設定し、入タイマーを午後10:00に8時間に設定した場合、午後11:00に運転が停止し、午前6:00に運転を再開します。

■給水ランプが点滅したら

・加湿中に水タンクの水がなくなると、加湿が停止してアラームが鳴り、給水ランプが点滅します。

※給水ランプの点滅中に加湿のモードを選んだときも、アラームが鳴ります。



・水タンクに給水し（→P9）本体にセットすると、給水ランプは消灯して、加湿を再開します。

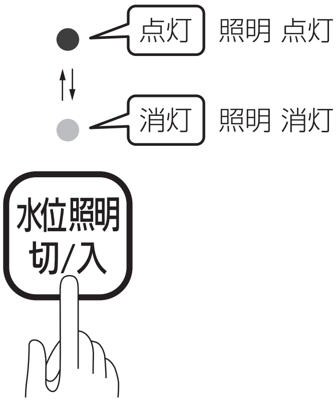


※給水のために水タンクを取り外しても、給水ランプが点滅しないうちは加湿運転は停止しません。加湿運転を停止する場合は、**加湿**ボタンまたは**電源 切**／**入**ボタンで停止してください。

■水位照明

残り水量を確認しやすくするために、内部に照明が付いています。

・加湿のモードを**強**または**標準**にして加湿を開始すると、照明は点灯します。
・加湿のモードにかかわらず、**水位照明 切**／**入**ボタンで照明を消灯／点灯できます。



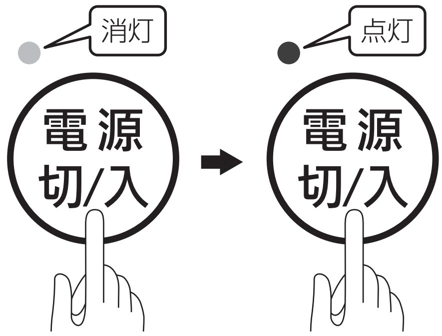
■電源ランプが点滅したら

・何も操作をしないで4時間経過すると、切り忘れ防止装置が働いて運転を停止し、電源ランプが点滅します。
・運転中に本体が傾いたときも、安全装置が働いて運転を停止し、電源ランプが点滅します。

●停止するときは、温風運転中はヒーターの冷却のために、約30秒間送風運転を行います。加湿中は、約15分間加湿筒の乾燥運転を行います。この間は、電源プラグを抜かないでください。

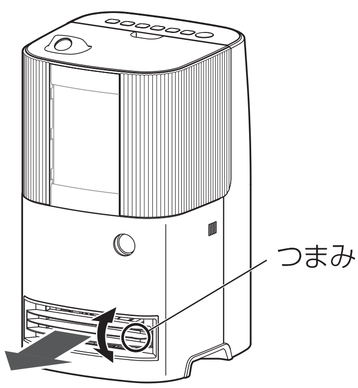


・運転を再開するには、**電源 切**／**入**ボタンを押して電源ランプを一旦消灯し、再度**電源 切**／**入**ボタンを押してください。



■ルーバーの方向調節

温風吹き出し口のルーバーは上下に方向を調節することができます。



●温風運転中や運転直後はルーバーが熱くなっていることがあります。ルーバーの調節は、つまみを持って行ってください。

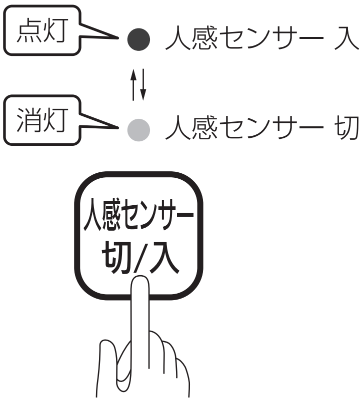
■人感センサー

人がいない間は運転を停止し、人の動きを検知すると運転する省電力運転ができます。

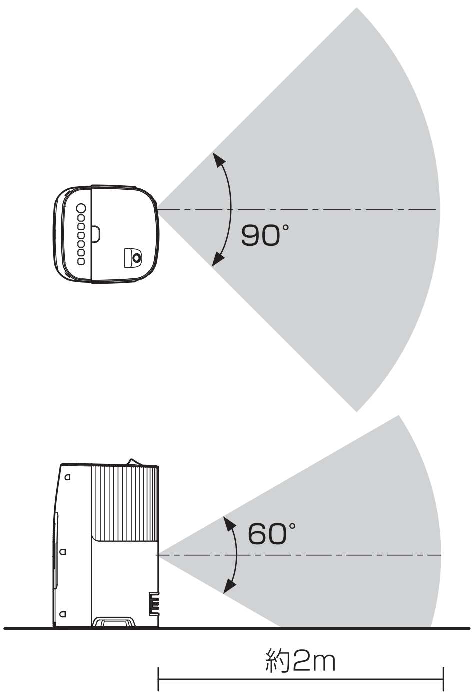
・**人感センサー 切**／**入**ボタンを押すたびに、入／切が切り替わります。

・**入**にすると、人がいなくなって3分後に運転を停止します。人の動きを検知すると運転を再開します。

※停止するときは、温風運転中はヒーターの冷却のために約30秒間送風運転を行います。加湿中は、約15分間加湿筒の乾燥運転を行います。



人感センサーの検知エリア



※検知エリアの温度変化に反応するので、人が検知範囲を横切るように設置すると反応しやすくなります。

次のようなときは、検知しなかったり、反応が悪くなったりします。

・夏期など、周囲の温度が高く、人との温度差が小さい場合
・冬期など、衣類を着込んで体温が外に発散されない場合
・センサーに向かって直進した場合

次のような場所では、動作しなかったり、誤動作することがあります。

・カーテンや植物など風でゆれるものの近く
・センサーや検知範囲に直射日光が当たる場所
・他の加湿器やエアコンなどの風が当たる場所

人以外のペットや熱を出す器具（他の暖房機器）などにも反応する場合があります。

人がいても、動きが小さかったり、じっとしているときには運転を停止します。

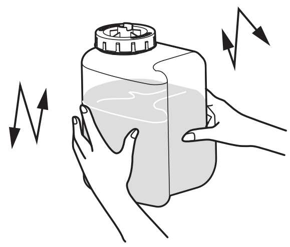
お手入れ

- お手入れは、必ず運転を停止して行ってください。
- シンナー、ベンジン、酸性・アルカリ性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

毎　日

■水タンク・加湿筒・吹き出しノズル

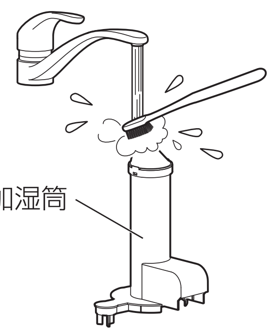
1 水タンクに少量の水を入れ、タンクキャップを閉めて振り洗いする



※汚れが落ちにくい場合は、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。洗った後は、洗剤分が残らないようにしっかりすすいでください。

※給水のために水タンクを取り外しても、給水ランプが点滅しないうちは加湿は停止しません。お手入れするときは**電源 切／入**ボタンを押して電源を切ってください。

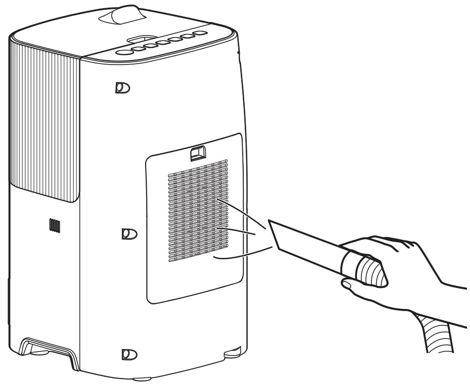
2 加湿筒も流水で洗う



1週間に1回

■吸気口カバー

※吸気口カバーの裏側にはエアフィルターが付いています。エアフィルターを破損しないように注意してほこりを取り除いてください。



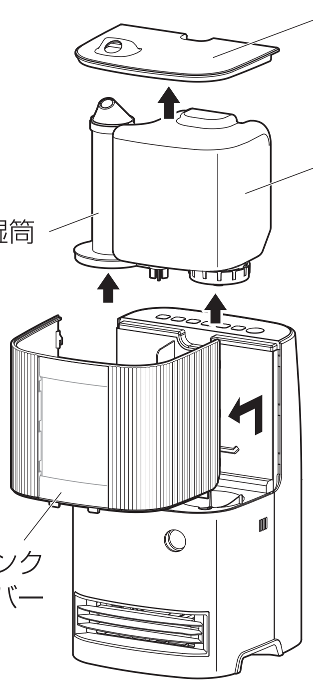
2週間に1回

■本体内部

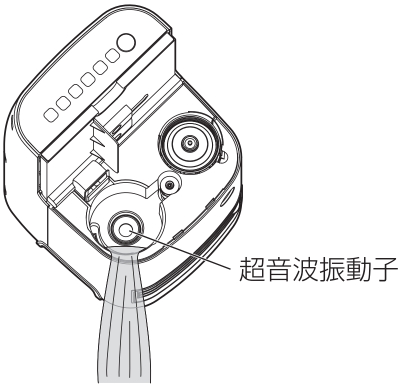
注意

- 本体内部のお手入れは、必ず電源を切って、電源プラグを抜いてから行ってください。
- 電源プラグはぬれた手で抜き差ししないでください。
- 水洗いはしないでください。

1 本体から、ふた・水タンク・加湿筒・タンクカバーを外す



2 本体に残っている水を捨てる

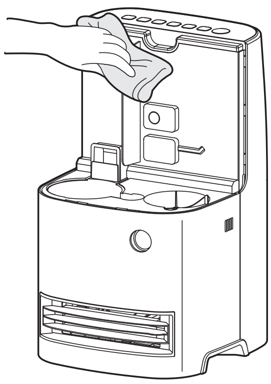


※本体は左前（超音波振動子側）に、ゆっくりと傾けてください。他の方向へ傾けたり、勢いよく傾けたりすると、水が機器内部に侵入し、故障の原因になります。

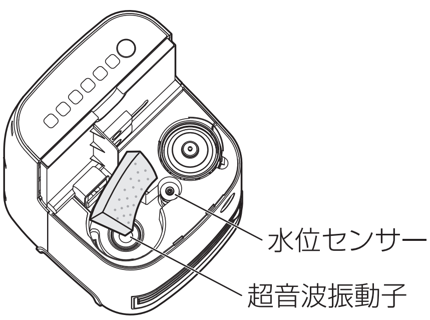
3 本体内部を掃除する

- 柔らかい布で拭いてください。

※汚れが落ちにくいときは薄めた台所用中性洗剤で拭いた後、洗剤が残らないように固くしぼった布で拭き取ってください。



- 水位センサーの下はごみがたまりやすいので、きれいな水を流して取り除いてください。
- 超音波振動子は柔らかいスポンジなどで掃除してください。



※超音波振動子に汚れや傷がつくと加湿量が低下することがあります。

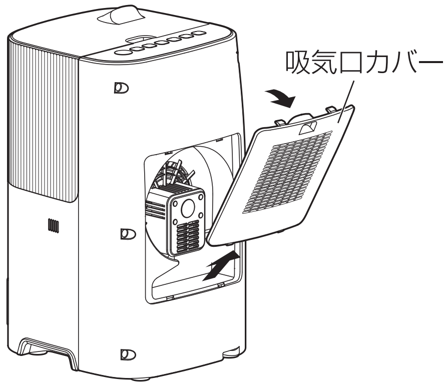
4 もとどおりに組み立てる

収納について

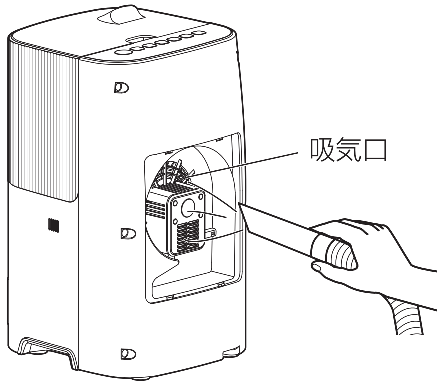
シーズンの終わりなどに収納するとき、または1年に1回程度、以下のようにお手入れしてください。

1 吸気口カバーを開ける

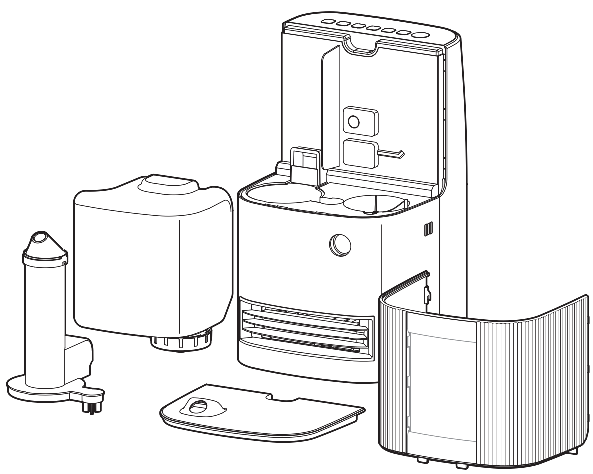
※吸気口カバーの裏側にはエアフィルターが付いています。エアフィルターを破損しないように注意してほこりを取り除いてください。



2 内部の吸気口周辺のほこりを取り除く



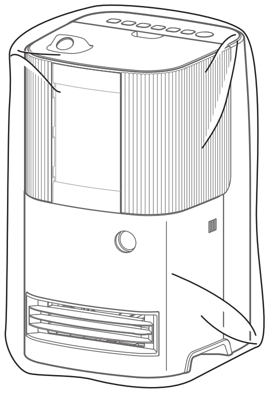
3 水タンク・本体の水を捨て、お手入れして、よく乾かす



つづく→

収納について　つづき

4 元どおり組み立て、梱包箱に入れるか、ポリ袋をかぶせて、湿気の少ない場所で保管する



故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状　態	考えられる理由	処　置
運転しない	●電源プラグが確実に差し込まれてない	●電源プラグを確実に差し込んでください。
運転しない（電源ランプが点滅する）	●転倒時安全スイッチが働いた	●**電源 切／入**ボタンを押して一旦電源を切り、水平で安定した床の上に設置して、再度**電源 切／入**ボタンで運転を再開してください。
運転が止まる（電源ランプが点滅する）	●切り忘れ防止装置が働いた	●何も操作をしないで4時間（入タイマーで動作したときは2時間）経過すると自動的に運転を停止します。
加湿されない	●加湿が停止モードになっている	●加湿ボタンを押して、**標準**または**強**を選んでください。
加湿されない（給水ランプが点滅している）	●水タンクの水を使い切った	●水タンクに給水してください。（→P9）
	●加湿筒または水タンクがきちんとはまっていない	●加湿筒・水タンクをきちんとセットしてください。
加湿の強・停止が選べない	●温風が停止中	●温風の停止中は加湿の**強**と**停止**は選べません。
温風の停止が選べない	●加湿運転が停止中	●加湿運転の停止中は温風の**停止**は選べません。

症状	原因	処置
霧の出が少なくなった	●超音波振動子が汚れている（水あかなどが付着している）	●柔らかいスポンジなどで超音波振動子を掃除してください。（→P15）
霧が出たり出なかったりする	●本機は、温度･湿度に合わせて、間欠運転して細かく加湿量を調整します。	●室温が低く床濡れのおそれがあるときなどは、加湿量をおさえます。
湿度が上がらない 部屋が暖まらない	●部屋が適用床面積より広すぎる	●適用床面積以内で使用してください。
	●窓やドアが開いている	●窓やドアを閉めて使用してください。
床がぬれる	●室温が低い	●室温が低いと床ぬれが起こりやすくなります。温風運転して、室温を上げてください。
においがする	●吸気口カバーのエアフィルターが汚れている	●吸気口カバーをお手入れしてください。（→P14）
	●水が古くなっている	●水タンク・本体の古い水を捨て、新しい水を入れてください。
	●初めて温風の運転をした	●初めて温風運転するときに、においが出ることがありますが、異常ではありません。使用に伴い、しだいになくなります。
温風の「強」「弱」「おまかせ」ランプがすべて点滅し、操作を受け付けない	●過熱防止装置が働いている	●吸気口カバーのほこりを取り除き、本体内部が冷めるのを待って操作してみてください。それでもなおらない場合は、アイリスコールへご連絡ください。
加湿の「強」「標準」ランプがすべて点滅し、操作を受け付けない	●超音波振動子の異常を検知している	●アイリスコールへご連絡ください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

⚠ 警告　●ご自分での分解・修理・改造はしないでください。

仕様

品番		SHH-121	
電源		AC 100V	
定格周波数		50Hz	60Hz
消費電力	加湿のみ	150W	150W
	暖房（弱）	600W	600W
	暖房（強）	1,200W	1,150W
	暖房（強）+加湿	1,350W	1,300W
加湿の適用床面積（目安）	木造和室	10畳	
	プレハブ洋室	17畳	
加湿量（最大）		約600mL/h	
連続加湿時間※1		約5.0時間	
運転音	加湿のみ	31dB	31dB
	暖房（弱）	44dB	41dB
	暖房（強）	44dB	41dB
	暖房（強）+加湿	44dB	41dB
安全装置		電流ヒューズ、温度ヒューズ、サーモスタット、傾きセンサー、切り忘れ防止装置	
製品サイズ		幅250×奥行275×高さ435mm	
製品質量		約4.9kg	
電源コード長さ		約1.7m	

※1 最大加湿量で連続加湿をした場合
※ 適用床面積は、保証値ではありません。
※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

■ 暖房の適用床面積（目安）

断熱材の厚み	木造住宅	コンクリート住宅
なし	約3畳（4.9㎡）まで	約4.5畳（6.9㎡）まで
50mm	約6畳（8.6㎡）まで	約8畳（12.9㎡）まで

※ 暖房の目安は、一般社団法人日本電機工業会の統一基準に準拠しています。
室内外温度差15℃以内の地区で、暖房設定温度（暖房快適室温）20℃としたときを基準とし、1畳＝1.65㎡として算出しています。

目安表示値の基準値

住宅の種類	木造住宅		コンクリート住宅	
断熱材の厚み	なし	50mm	なし	50mm
1㎡あたりの必要W数	244W	140W	174W	93W

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がありませんと、無料修理保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

※ 超音波振動子の寿命は約5,000時間です。
適正な広さの部屋で、1日あたり8時間、毎年4か月間運転した場合、約5年間ご使用いただけます。

加湿セラミックファンヒーター　SHH-121　　保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年　月　日		保証期間 **お買い上げ日より：1年間**	
お客様	お名前 ご住所　〒 電話（　　）　-	※販売店	住所・店名 電話（　　）　-

販売店様へ：　※印欄は必ず記入してお渡しください。

保証規定

1 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
2 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
3 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
4 ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
5 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
　① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
　② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
　③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
　④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
　⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
　⑥ 本書の提示がない場合
　⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
6 本書は日本国内においてのみ有効です。
7 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社　〒980-8510 仙台市青葉区五橋２丁目12番１号
ホームページ http://www.irisohyama.co.jp/

製品に関するお問い合わせは　アイリスコール（通話料無料）　0120-311-564
修理に関するお問い合わせは　修理専用コール（通話料無料）　0800-170-7070
受付時間　平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 ／ 13:00～17:00
（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）
FAX でのお問い合わせは（通信料無料）　0800-888-2600
Web からのお問い合わせは　http://www.irisohyama.co.jp/support/
メールフォームにご記入のうえ送信してください

77921
060815_KTK_02
P070815_KTK_LXD_01